

# 医療倫理・医療安全論

## 11. 染色体異常と人工妊娠中絶 について

7階第5研究室

江原朗

# 遺伝子と染色体

- 人体の設計図:
  - 男 46XY
  - 女 46XX
- 3つの塩基でアミノ酸を指定(トリプレット)
- 遺伝形式
  - 常染色体(優性、劣性)
  - 伴性(劣性)

# 遺伝と先天異常

- 遺伝と先天異常
  - 遺伝子病
  - 胎児病、胎芽病
  - 発生異常

# 遺伝子病(1)

- 常染色体優性遺伝
  - 運動器系や神経系など
  - マルファン症候群、ハンチントン舞踏病
  - 鎌形赤血球症など

異常なたんぱくを作っている場合などは  
他の遺伝子がカバーできない。

# 遺伝子病(2)

- 常染色体劣性遺伝
    - 酵素が先天的に欠損する先天性代謝異常など
    - 1本の遺伝子異常では、対の遺伝子がカバー
- フェニルケトン尿症、アルカプトン尿症、スフィンゴリピド蓄積症、糖原病など

# 遺伝子病(3)

- 伴性劣性遺伝：X連鎖遺伝病
  - 女性では、他のX遺伝子がカバーするが、男性では1本しかないの  
で発病
  - 色盲、デシヤンヌ型筋ジストロフィー、  
血友病など

# 胎児の発育異常による疾患

- 配偶子病：染色体の数や構造異常  
ダウンス症候群、ターナー症候群、クラインフェルター症候群など
- 胎芽病：妊娠3～8週の器官形成期の異常  
– サリドマイド児、先天性風疹症候群など
- 胎児病：妊娠9週以降の異常  
– 先天梅毒、トキソプラズマ症、血液型不適合妊娠など

# 発生異常

- 無形成、発育不全：無脳症、脾欠損、小顎症など
- 分離・融合障害：馬蹄腎、兔唇、双角子宮など
- 残存・遺残：PDA、卵円孔開存など
- 癒着・開通障害：胆道狭窄など
- 位置異常：全内臓逆位、異所性膵など

# 催奇形因子

- 遺伝子異常
- 染色体異常
- 両親の年齢
- 母体の感染：ウィルスや原虫の感染
- 母体内分泌疾患：糖尿病、甲状腺機能低下
- 栄養因子：葉酸など
- 化学因子：アルコールなど
- 物理因子：羊水過多、放射線被ばくなど

# 生殖補助医療をめぐる問題

- 人工妊娠中絶

- 人工的な手段(手術または薬品)を用いて意図的に妊娠を中絶させ、胎児を殺すこと。

- 母体保護法:妊娠22週未満

# 平成23年度衛生行政報告例 (厚生労働省)

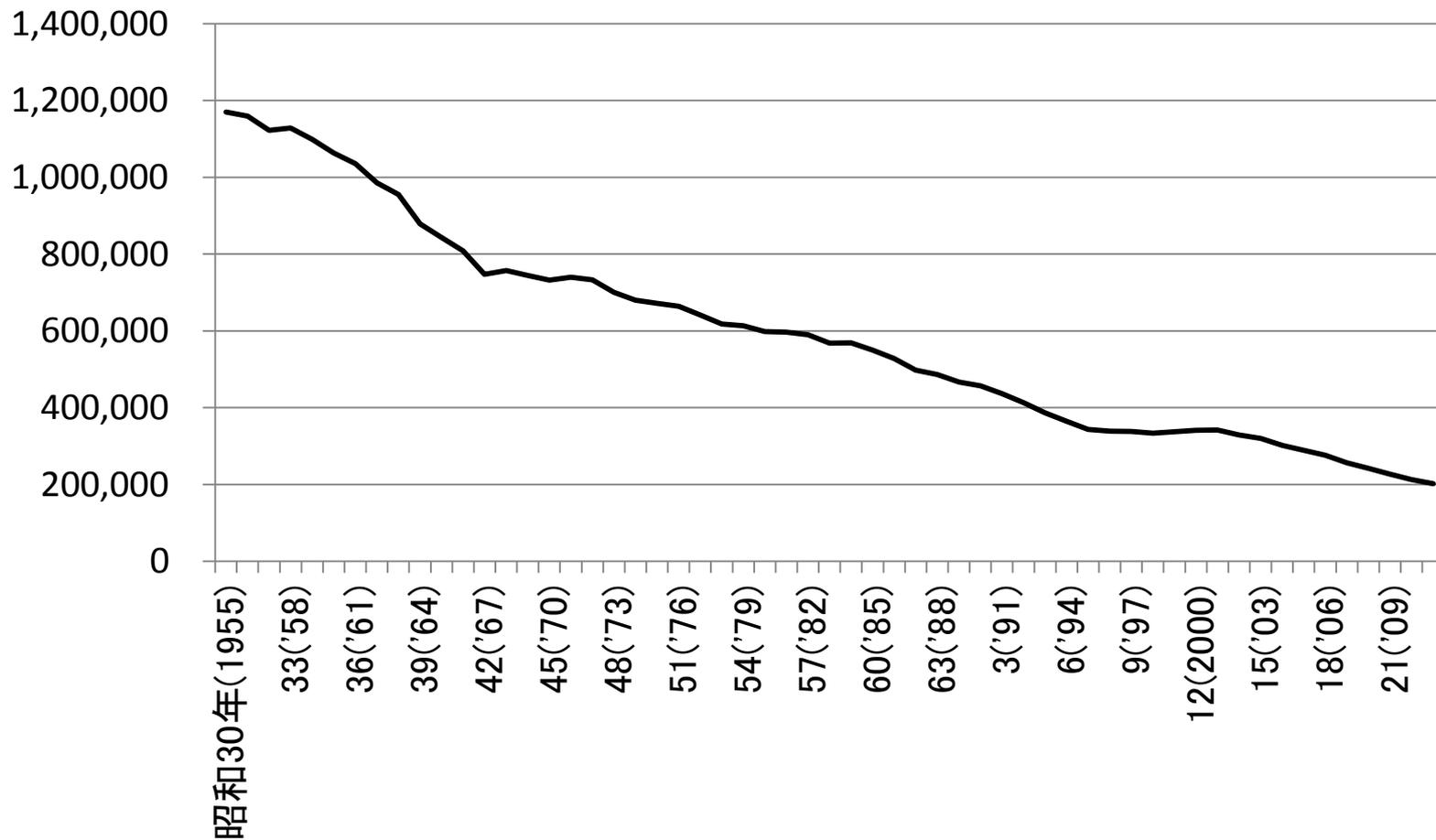
	総	数	母体の健康	暴行脅迫
総 数	202,106		201,928	178
15歳未満	406		405	1
15歳	1,046		1,041	5
16歳	2,831		2,824	7
17歳	4,099		4,094	5
18歳	5,264		5,253	11
19歳	7,257		7,248	9
20～24歳	44,087		44,052	35
25～29歳	42,708		42,680	28
30～34歳	39,917		39,881	36
35～39歳	37,648		37,620	28
40～44歳	15,697		15,687	10
45～49歳	1,108		1,105	3
50歳以上	21		21	—
不 詳	17		17	—

# 平成23年度衛生行政報告例 (厚生労働省)

妊娠週数	中絶件数
総 数	202,106
満7週以前	110,595
満8週～満11週	79,918
満12週～満15週	5,679
満16週～満19週	3,858
満20週・満21週	2,006
週数不詳	50

# 中絶の統計（日本）

## 人口妊娠中絶



# 人工妊娠中絶と優生思想の危険性

- 生まれてきてほしい人間の生命と、そうでないものとの区別
- 生まれてきてほしくない人間の生命は人工的に殺してもかまわないとする考え方
- 問題点：受精卵診断、出生前診断や人工妊娠中絶との関連